



はじめよう！訪問看護師

「訪問看護ってやめられない！」

訪問看護師は思います。真夏に大汗かきながらの訪問、寒風が身にしみる冬。でも利用者さんの玄関にはいると「待ってたわ！」と笑顔で迎えてくれる。90才のお一人暮らしの方、障害を持って生まれたベビーと若いママ。人生の最期の時を自宅で過ごしたい想いで退院された方。利用者お一人お一人の人生の、短いけれど貴重なお時間に、訪問看護師は寄り添う。共に泣き共に笑う。

「人が好き！看護が好き！」という看護師さん、私達と訪問看護の深みにはまろう！

訪問看護師って、楽しい！

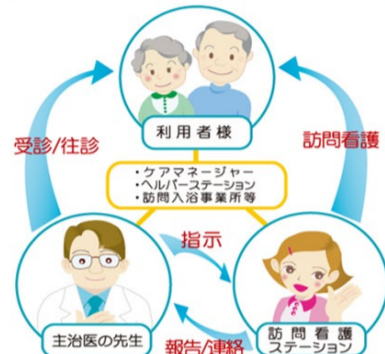
【その人らしい生活を支える】

病棟勤務から訪問看護に異動したきっかけは、『最期を自宅で過ごしたい』という患者さんの言葉からでした。訪問看護は“一人で訪問判断する”というイメージがありましたが、ステーションでは毎日カンファレンスが行われており、利用者さんの情報を共有していきます。ケアの悩みや判断に迷った時は、皆で共有し解決していきます。“その人らしい生活を支える”ため、日々学びで刺激的な毎日です！ (訪問看護ステーション上戸田 針生さん)



訪問看護ステーションあおほ

訪問看護はこんなサービスです



地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まですべての年代の方に、他種と協力して、必要な支援を行います。



健康状態の悪化防止や回復に向けてのお手伝いをしています

お一人おひとりの病状や障がいに応じて看護やリハビリを行います



訪問看護師の一日



朝のカンファレンス

当日の訪問予定の確認、利用者との情報共有を行います。



訪問へ出発！

訪問宅へは電動自転車や車を使用して向かいます。



訪問看護サービス

バイタルサイン測定、お話を伺いながらケアに入ります。一日4件程度訪問します。

(一橋病院訪問看護ステーション)

訪問看護の現場から

—コロナ渦での自宅看取りを考える—

A氏は長年抗がん剤治療を続けて来た方です。脳腫瘍を発症し経口摂取が出来なくなり、寝たきりでコミュニケーションも難しい状態となりました。コロナ渦での面会制限もあり、在宅中心静脈栄養を持って自宅療養に踏み切りました。在宅ワークとなったご家族が主介護者となり、半年の在宅療養を経て、ご自宅で最期を迎えました。周囲の予想よりも長くご自宅で過ごすことができました。

コロナ渦で面会制限があり、自宅で過ごしたいと退院される方が増えています。入院後のご本人の様子が分からず、状態の変化したご本人を自宅で介護する生活が突然始まり、ご家族の不安はとても大きなものだったと思います。それでも、A氏の視線の先に元気があったころの写真が何枚も飾られ、ご家族の声が聞こえる生活は本人にもご家族にも、穏やかで良い時間が過ごせたのではないかと思います。在宅でも病院でも、最後までその方らしく穏やかに過ごせる様に私達が出来る支援をみんなで考えていきたいです。



(訪問看護ステーションつくし 広報誌 つくしんぼより)



あこがれの先輩 (元看護師の利用者さん)

91歳のお誕生日おめでとうございます！サービス担当者会議で皆さんと一緒に祝いしました！2年前には毎日訪問看護を受けていましたが、ご本人の努力とご家族の献身的な介護のおかげで、すっかり元気になりました。今ではご家族で船旅も楽しんでおられます。これからもお元気で素敵に歳を重ねてくださいね。

(佐々訪問看護ステーション スタッフ日記より)

COVID-19の今 猛威中

新規患者数は、4月上旬以降緩やかな増加傾向となっており、5類移行後も11週連続で増加が継続し、直近では全国の定点当たり報告数が15人を超えました。

(全国の7/24~7/30の定点当たり15.91人、前週比1.14)

定点当たり報告数とは、対象となる感染症について、すべての定点医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると1医療機関当たりの平均報告数のこと

増えている理由は！

人流の増加・暑さによる換気不足や感染対策への気の緩み・脱マスクなど

そして、新しい変異株・オミクロン株 XBB 系統の割合が大部分を占めます

従来のオミクロン株の免疫をすり抜ける性質が強くなっているようで、過去に感染した免疫や、ワクチン接種によって得られた免疫を回避する可能性があると言われています

看護局 News 配信にあたりまして

看護局長 片岡恵子

皆様におかれましては、日々ご尽力賜りまして誠に感謝申し上げます。

うだるような暑さがつづいておりますが、夏バテなどなさってはいらっしゃいませんか。

この度、従来の「えんのみ」を更に発展させ、より皆様にタイムリーな情報配信・共有すべく「看護局 News」を創設致しました。

TMG ポータルサイトより適宜配信致しますので、多くの皆様にご覧いただけますようお願い致します。

さて、深刻な少子高齢化社会を迎える中、国は「地域包括ケアシステム」を進めてまいりました。「地域主体」で医療・介護のサービスを切れ目なく提供する上で訪問看護ステーションは、医療依存度の高い高齢者の在宅生活を支える重要な役割を果たしています。①退院支援②日常の療養支援③急変時の対応④看取り、この4つの医療機能は訪問看護ステーションなしでは実現できない機能と言えます。地域に寄り添った質の高い看護を提供することで、地域医療の基盤を支えていくのが訪問看護の使命であり、やりがいでもあります。

TMGでは15事業所を運営し、様々な利用者様が訪問看護を楽しみに待っています。訪問看護師になるまでの経緯は人によって様々ですし、同じ臨床経験をしてきた看護師は一人として存在しません。経験不足の訪問看護師のフォロー体制もできております。訪問看護経験を重ねることは、看護師として働き続ける上での強みになるでしょう。

